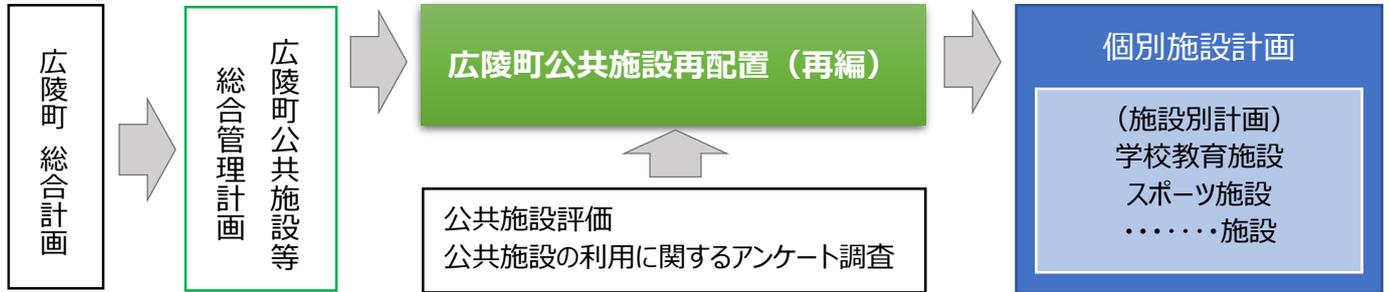


# 広陵町 公共施設再配置（再編）計画 概要版

## 計画の位置づけ

- 本計画は、「広陵町公共施設等総合管理計画」に基づき策定されるもので、今後策定される「個別施設計画」の指針となるものです。



## 計画の期間

- 計画の期間は、2020（令和2）年度から2055（令和37）年度までの36年間とします。
- 計画期間を【前期】（11年間）、【中期】（10年間）、【後期】（15年間）に区分し、本計画では前期の取り組み方針を示すものです。

計画名	2016	2020	2030	2031	2040	2041	2055
広陵町公共施設等総合管理計画	2016年度～2055年度【40年間】						
広陵町公共施設再配置（再編）計画		2020年度～2030年度【前期(11年間)】		2031年度～2040年度【中期(10年間)】		2041年度～2055年度【後期(15年間)】	

## 計画の対象施設

- 施設数 : 96 施設
- 延床面積 : 118,063.76 m<sup>2</sup>

施設分類	該当する施設	施設数	延床面積 (m <sup>2</sup> )	%
町民文化系施設	広陵中央公民館、地区公民館(23)、地区集会所(14)	38	11,600.80	9.8
社会教育系施設	広陵町立図書館、広陵交通公園、文化財保存センター	3	3,429.00	2.9
スポーツ・レクリエーション施設	広陵中央体育館、ミニ体育館(4)、奈良県広陵健民運動場、広陵町パークゴルフ場	7	6,777.06	5.7
学校教育系施設	小学校(5)、中学校(2)、広陵町・香芝市共同中学校給食センター	8	46,852.80	39.7
子育て支援施設	保育園(3)、幼稚園(5)、認定こども園、学童保育所(7)	16	10,363.95	8.8
保健福祉施設	総合保健福祉会館（さわやかホール）、はしお元気村、広陵町ふるさと会館グリーンパレス	3	11,158.00	9.5
行政系施設	広陵町役場、消防施設（分団詰所）(4)、防災倉庫(3)	8	6,847.36	5.8
公営住宅	町営住宅(4)	4	5,085.00	4.3
供給処理施設	グリーンセンター広陵、広陵町エコセンター	2	12,413.00	10.5
公園施設	竹取公園、西谷公園、見立山公園	3	830.72	0.7
上下水道施設	真美ヶ丘配水場	1	2,016.25	1.7
その他施設	町営斎場(火葬棟、待合棟)、広陵東部地区農業研修センター	3	689.82	0.6

## 施設の点検・評価

施設の現状を「安全性」、「必要性」、「有効性」、「効率性」の視点から点検し、その結果について、「施設の性能（安全性）」と「施設の機能（必要性・有効性・効率性）」に区分して施設評価（ポートフォリオ）を行います。

点検・評価の視点	点検・評価のポイント
① 施設の「安全性」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 耐震性の状況</li> <li>● 老朽化の状況</li> <li>● 土砂災害等の危険区域の該当・非該当</li> </ul>
② 施設の「必要性」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設の設置目的に即した使用内容になっているか</li> <li>● 当該施設でなければできない事業か</li> <li>● 他の施設でも類似したサービス、事業を実施していないか</li> <li>● 当該サービスは、町が関与しなければならないか</li> </ul>
③ 施設の「有効性」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設を構成する各室の利用状況や稼働率は適切か</li> <li>● 特定の団体が特定の部屋を占有していないか</li> <li>● 利用者が地域住民に限定されていないか</li> <li>● 当該施設の周辺に機能が類似する施設はないか</li> <li>● 当該施設で他の機能との複合化は可能か</li> </ul>
④ 施設運営の「効率性」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 管理運営に民間活力の活用はできないか</li> <li>● 地域に管理運営を委ねることはできないか</li> <li>● 借地料を含め、維持管理コストは適切か、受益者負担は適切か</li> <li>● 収入の確保対策は行っているか</li> </ul>

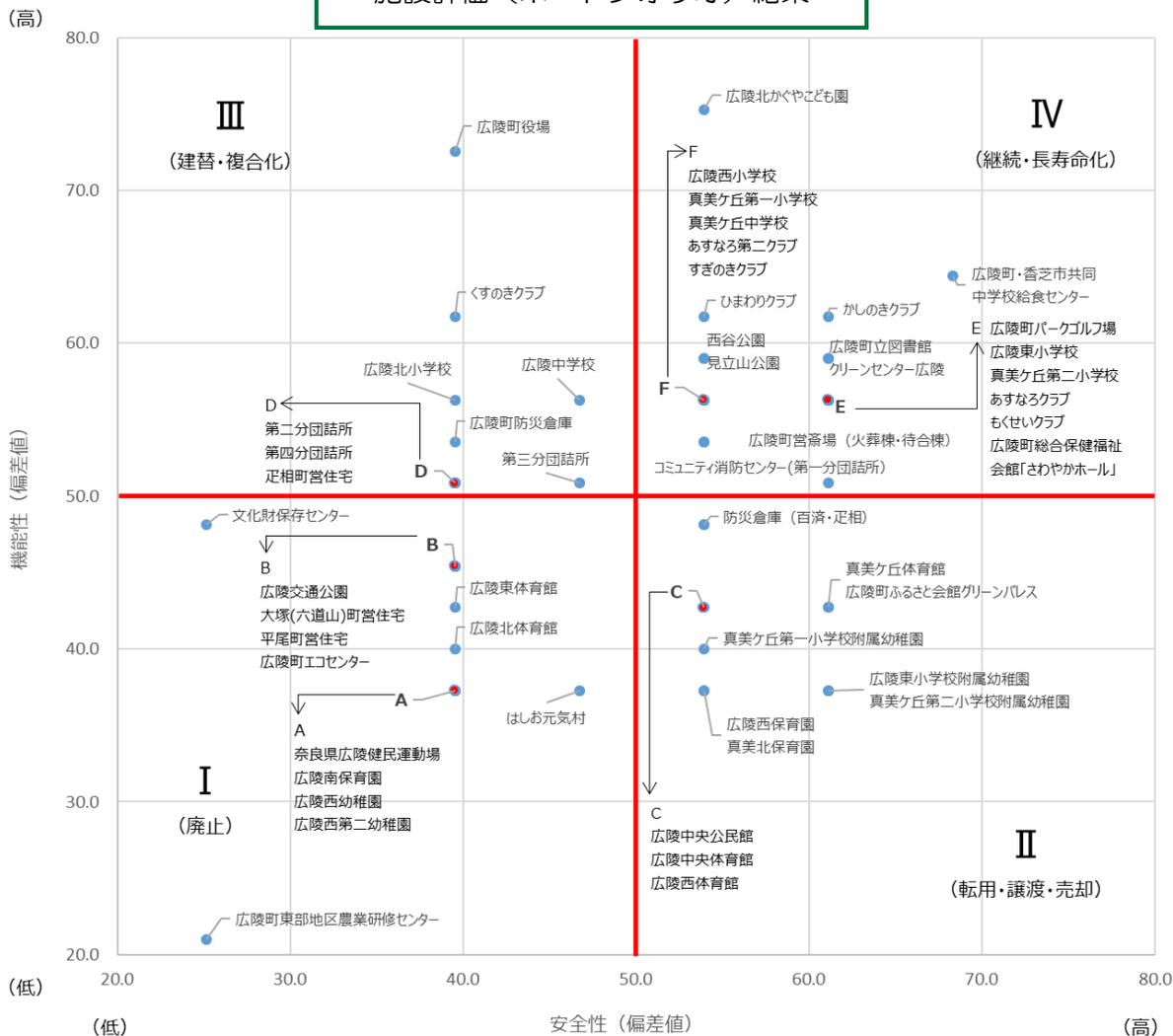
### 【施設評価（ポートフォリオ）の考え方】

「機能性」と「安全性」による2軸の評価から、各施設における再配置（再編）の方向性を「廃止」、「転用・譲渡・売却」、「建替・複合化」、「継続・長寿命化」の4つに分類します。

機能性	施設の必要性・有効性・効率性等に着目し、施設の役割やニーズの有無などから分析します。
安全性	施設の安全性に着目し、施設の立地場所、耐震性の有無や老朽化の状況などから分析します。



### 施設評価（ポートフォリオ）結果



# 公共施設再配置（再編）の基本方針

## 基本方針 1：計画的な予防保全による公共施設の長寿命化と安全、効率的な維持管理

予防保全型維持管理により施設の長寿命化を図る「① 計画的な予防保全の実施」と、利便性の向上や施設運営の効率化を図るため「② 施設機能の維持・向上」に努めるとともに、安全性の確保が困難な施設については廃止や建替を視野に入れた「③ 安全かつ効率的な維持管理の実施」について検討します。

## 基本方針 2：社会情勢や住民ニーズを踏まえた公共施設再配置（再編）の推進

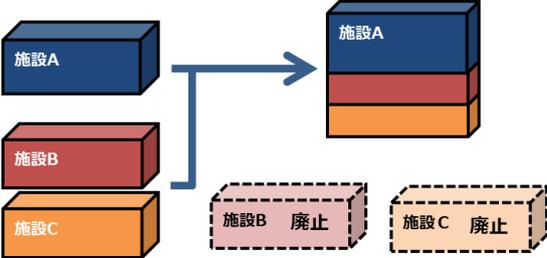
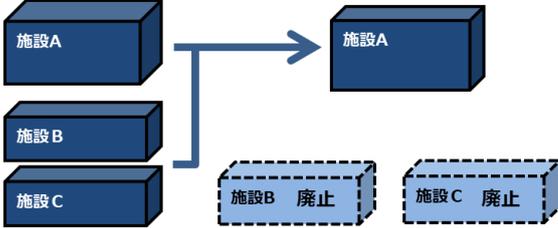
住民ニーズや人口動向、財政状況等を踏まえ、施設の再配置方針を位置づけることにより「① サービスの適正化」を図るとともに、「② 施設総量の縮減」に向けた施設の集約化や複合化、譲渡等の検討を行います。さらに、再配置により不要となった建物や土地については「③ 資産の有効利用」に向け、売却や貸出等を進めます。

## 基本方針 3：管理運営の効率化によるコスト削減と民間活力の導入による施設運営の最適化

施設運営の最適化を図るため「① 民間活力導入の検討」を進め、民間ノウハウを活用した計画的な維持管理や予防保全、包括管理委託等により「② 維持管理費用等の縮減」を図ります。さらに、現状の施設運営における採算性を踏まえ、「③ 受益者負担の適正化」について検討します。

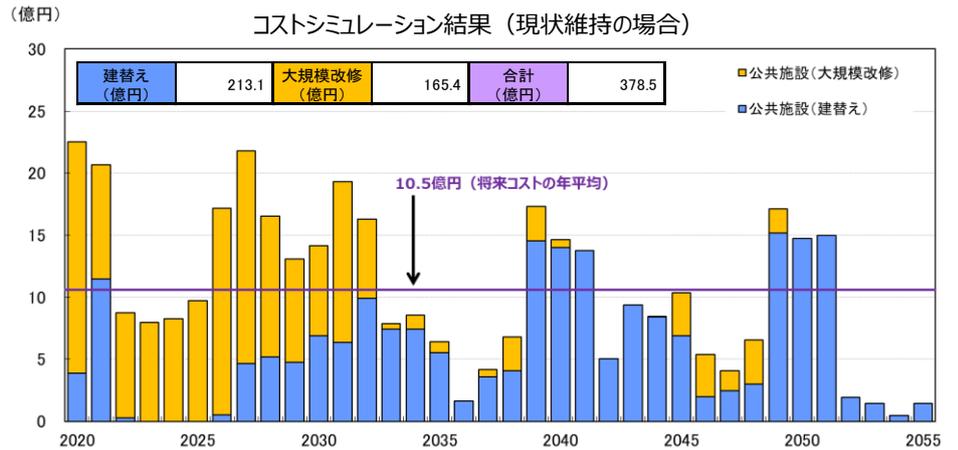
# 再配置（再編）方針と取り組み内容

公共施設の再配置（再編）の基本方針を踏まえ、再配置（再編）方針と取り組み内容を下表のとおり定めます。

再配置（再編）方針	取り組み内容
長寿命化	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常点検、予防保全、大規模修繕や改修を計画的に行い建物の長期利用（長寿命化）を図ります。</li> </ul>
建替	<ul style="list-style-type: none"> <li>著しい老朽化や設備機器の経年劣化が進み、安全面や管理運営面において問題のある施設については、新たな施設として建替します。</li> </ul>
複合化	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の異なる種類の施設において、一方の施設にある余剰スペースを用途変更し、もう一方の施設の機能を統合します。</li> </ul> 
集約化	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の同種または類似する施設を一方の施設に機能集約し、もう一方の施設を廃止します。</li> </ul> 
譲渡・委託管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定の地域住民が利用するなど利用者が限定されている施設は、地元への施設譲渡の可能性を検討し、地元と合意できた施設を譲渡、あるいは施設の管理を地元（民間を含む。）に委託します。</li> </ul>
民間活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営管理上、民間のノウハウを活用することが適している施設は、民間活力導入（譲渡を含む。）を進めます。</li> </ul>
転用（土地・建物）	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能的に不要となった施設や跡地を転用（民間事業者等への貸付を含む。）します。</li> </ul>
現状維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常点検や診断、メンテナンス等の予防保全を実施することにより、法定耐用年数が到来するまで施設を適切な状態で使い続けます。将来的には、施設のあり方を検討します。</li> </ul>
廃止	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物の著しい老朽化、集約化や複合化により不要となった施設を解体・除去します。老朽化や設置目的を達した施設は解体・除去により廃止します。</li> </ul>

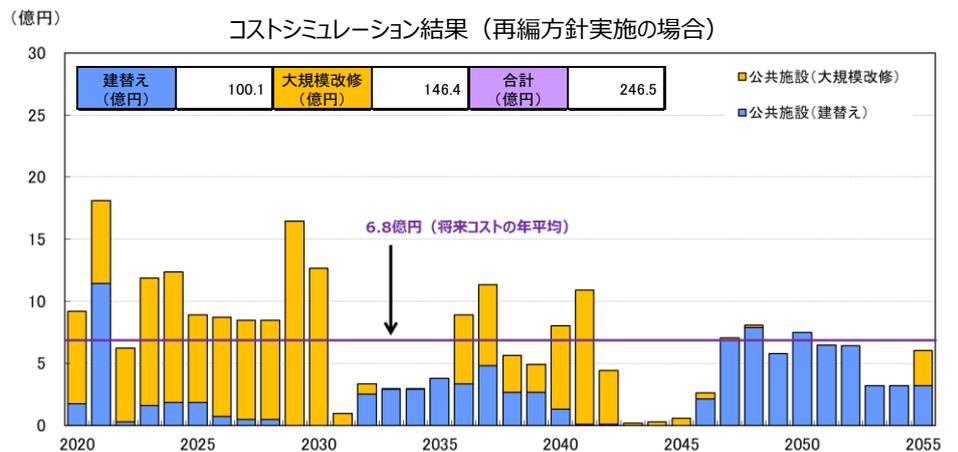
## 再配置（再編）方針の実施による効果

保有する公共施設を、現状維持のまま更新する場合と、再配置（再編）方針に基づいて更新する場合のコストを比較すると、現状維持の場合は総額 378.5 億円（年間約 10.5 億円）、再配置（再編）方針実施の場合は総額 246.5 億円（年間約 6.8 億円）となり、総額で 132.0 億円（年間約 3.7 億円）のコスト縮減が見込まれる結果となります。



施設分類別にみると、計画期間中のコスト縮減効果は、長寿命化の対象となる施設が多い「スポーツ・レクリエーション系施設」や「学校教育系施設」が高くなっています。

（注）「町民文化系施設」の地区公民館・地区集会所については、再配置（再編）方針に基づき、建物の大規模改修及び建替に係るコストは計上していません。

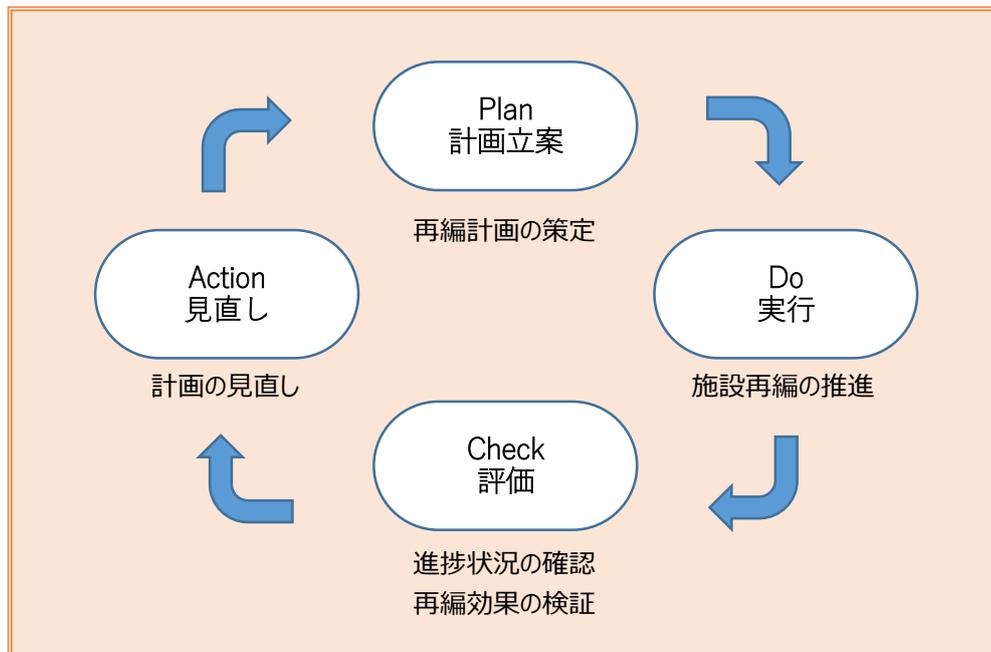


再配置（再編）方針実施効果（施設分類別更新コスト）

施設分類	現状維持				再配置方針実施				増減 (億円) (B-A)
	前期 (~2030)	中期 (~2040)	後期 (~2055)	合計 (億円) (A)	前期 (~2030)	中期 (~2040)	後期 (~2055)	合計 (億円) (B)	
町民文化系施設	22.4	21.9	14.6	58.9	5.2	7.5	0.0	12.7	▲46.2
社会教育系施設	8.8	1.4	0.4	10.6	0.5	7.3	0.0	7.8	▲2.8
スポーツ・レクリエーション系施設	13.9	13.3	9.4	36.6	14.1	1.9	0.0	16.0	▲20.6
学校教育系施設	47.5	20.2	53.4	121.1	47.2	2.2	26.2	75.6	▲45.5
子育て支援施設	23.0	5.5	17.1	45.6	24.1	10.0	5.9	40.0	▲5.6
保健福祉施設	13.0	6.5	10.1	29.6	5.6	10.3	6.5	22.4	▲7.2
行政系施設	18.3	16.6	1.2	36.1	12.2	4.0	23.3	39.5	3.4
公営住宅	6.9	7.9	3.9	18.7	4.8	0.0	7.1	11.9	▲6.8
供給処理施設	1.6	3.0	0.0	4.6	1.6	2.8	0.0	4.4	▲0.2
公園施設	0.6	0.0	2.7	3.3	1.4	0.0	2.6	4.0	0.7
上下水道施設	3.1	5.5	1.0	9.6	3.1	5.5	1.0	9.6	0.0
その他施設	1.4	1.2	1.2	3.8	1.4	1.2	0.0	2.6	▲1.2
更新コスト (総額)	160.5	103.0	115.0	378.5	121.2	52.7	72.6	246.5	▲132.0

## 計画推進のための取り組み

公共施設再配置（再編）計画の推進において、特に重要となる庁内の仕組みの整備や、住民の皆さまとの協働について取り組んでいきます。



再配置（再編）計画を着実に推進するためには、計画の進捗状況を確認し、進捗の遅れや計画の推進にあたっての課題が認められる場合は、その解決に向けた調査、検討などを行う他、再編後の経過について、適宜検証することにより、成果や課題などを把握し、今後の計画の推進に活用します。

問い合わせ先：広陵町 企画部 企画政策課（令和 2 年 3 月）